



第50期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日



株式会社 エフピコ

証券コード：7947

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
この度の東日本大震災により被災された皆様に、改めて心よりお見舞いを申し上げます。
ここに、当社第50期上半期の営業の概況につきましてご報告申し上げます。



代表取締役会長 (CEO)

小松安弘



代表取締役社長 (COO)

佐藤守正

❖ 営業の概況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの急速な復旧や、一部復興需要の兆しが見られるなど、弱いながらも景気は持ち直しの動きがでております。一方、欧米の金融不安や経済成長の鈍化、円高の進行、さらには中国をはじめとする新興経済国の変調もあり、内外共に景気の先行きは不透明感が増しつつあり、景況感は足踏みの状況になっております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、販売面におきましては、汎用製品及び軽量化製品の拡販に加え、新デザイン製品や新機能製品の採用も好調で、東日本大震災の影響による消費の落ち込みや、製品値上げに伴い不採算取引の見直しを行うなど、マイナス要因はありましたが、製品売上数量は前

年同期比105.6%と伸長しました。製品売上高は、販売数量が大きく伸びたことに加えて、製品値上げの効果が出始めたこと、平成22年12月に鶏卵パックや農産物向け容器の製造販売をするダイヤフーズ(株)の連結グループ化などから、前年同期比108.5%と順調に推移しました。

商品売上高は、平成22年10月に包装資材問屋のインターパック(株)が連結グループに加わり、商品取扱量の拡大に努め、前年同期比143.0%となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は768億82百万円、前年同期に比べ107億31百万円の増収（前年同期比116.2%）となり、第2四半期連結累計期間としては過去最高の売上高となりました。

利益面におきましては、前期第4四半期連結会計期間から当社製品の原材料価格は次第に高騰を続け、原材料コストは前年同期に比べ約19億円の増加となり、その他経費等の増加約7億60百万円がありました。一方、製品売上数量の増加及び新製品の販売が好調なことや商品取扱量の増加、生産及び物流をはじめとしたグループ全体でのコスト改善に加え、当第2四半期からお客様にご協力をいただいた製品値上げにより、これらの利益改善額は総額27億50百万円となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は69億17百万円（前年同期比101.3%）となり、第2四半期連結累計期間としては過去最高の経常利益となりました。なお、特別損失には、東日本大震災に関わる費用1億89百万円及び電力制限対策費（自家発電機移設費用）51百万円、合計2億41百万円を計上したため、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は37億81百万円（前年同期比94.5%）となりました。

なお、当社グループの販売品目別の売上高概況は次のとおりであります。

分類	主要品目	売上高(百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
製品	トレー容器	14,198	18.5	102.0
	弁当容器	37,680	49.0	105.2
	その他製品	3,878	5.0	237.8
	小計	55,757	72.5	108.5
商品	包装資材	16,688	21.7	161.1
	その他商品	4,436	5.8	100.5
	小計	21,125	27.5	143.0
合計		76,882	100.0	116.2

今後の見通しにつきましては、原材料価格動向に加えて、景気は足踏み状態が続き、依然として先行き不透明な状況が予想されます。平成24年3月期の連結業績につきましては、平成23年8月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、平成23年5月16日には、平成22年12月に中部リサイクル工場において稼動したPETメカニカルリサイクルプラントで生産された再生PETフレークを食品容器用途に使用することについて、米国食品医薬品局（FDA）よりNo Objection Letter（NOL）を取得し、PET樹脂においても、再商品化製品の上市に向けて準備をすすめております。来春には、中部リサイクル工場にてPETメカニカルリサイクルプラントの2号機が稼動の予定です。

さらには、PET二軸延伸製品（耐熱性向上と強度アップを実現したPET透明容器では世界初となる二軸延伸シートからの成型品）の生産と、商品取扱量拡大のためのアイ・ロジック関東ピッキングセンターの拡充を目的としたピッキングセンターを併設した関東新工場（来春稼動予定）の建設に着手いたしました。

東日本大震災による被災により稼動を停止しておりました東北工場は、生産を山形工場に完全に移管し、今後の東北地区の復興需要に備えたピッキングセンターにリニューアルのうえ、商品の一層の拡販に努めてまいります。

株主の皆様には、何卒、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

❖ 四半期連結貸借対照表

(平成23年9月30日現在)

(単位: 百万円)

資産の部	
科目	金額
流動資産	66,864
固定資産	92,628
有形固定資産	84,398
無形固定資産	2,880
投資その他の資産	5,349
資産合計	159,492
負債の部	
流動負債	64,582
固定負債	27,852
負債合計	92,434
純資産の部	
株主資本	66,729
その他の包括利益累計額	296
少数株主持分	32
純資産合計	67,057
負債純資産合計	159,492

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

❖ 四半期連結損益計算書 (累計)

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額
売上高	76,882
売上原価	54,051
売上総利益	22,831
販売費及び一般管理費	16,244
営業利益	6,587
営業外収益	618
営業外費用	288
経常利益	6,917
特別利益	1
特別損失	327
税金等調整前四半期純利益	6,591
法人税、住民税及び事業税	2,837
法人税等調整額	△30
少数株主利益	2
四半期純利益	3,781

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

❖ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (累計)

(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,378
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,951
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△減少額)	△749
現金及び現金同等物の期首残高	13,273
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,523

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平舟

深さの浅い平皿タイプ

シンプルな形状のため汎用性に優れ、鮮魚・精肉・日配・水産生食・和菓子など幅広くご利用いただける平皿です。ロースタック形状で、バックヤードでの省スペースにも貢献し、また底面がフラットなため、ラップ機に通しやすいなどのライン適正にも優れています。平底と段底タイプの二種類あり、段底タイプは、少量でもボリューム感のある盛り付けができます。



MFP-ホットキッチン

レンジ対応で揚げ物に最適な惣菜汎用容器

HSホットキッチンの素材のハイスターを、マルチFP仕様にしたものが新登場。ハイスターの断熱性、保湿性が向上しレンジ加熱後の底面温度が、約20度軽減し、手に持ってもさほどの熱さを感じなくなり、ハイスターに比べ約55%も軽量化に成功し強度もアップしました。さらにマルチFP独自の機能として耐寒性にも優れています。

本体は、シンプルな白、底面にはリブがついて食品の移動を防ぎます。



SA氷河

氷河の形状を取り入れたOPS容器

氷河独特の三角形の凹凸が、売り場の照明で光を乱反射しキラキラと輝く美しい容器で、揚げ物や助六寿司・枝豆などに最適です。

また、フラットな本体底面形状のためアウトパックの際のライン適正に優れています。蓋面四隅には、本体足部にしっかりかみ込む凸形状のストッパーが付いて積み重ね強度があります。先進の機能と今までにない美しいフォルムの容器です。



5つの新シートでマーケットシェアを拡大

幅広い温度帯をカバーするMFPや、世界初の二軸延伸シート（'12年春上市予定）からの成型品を実現するPETなど、エフピコは次々に新素材を開発しています。これらの新素材を武器にマーケットシェア拡大を目指します。

⑤ PP透明容器

耐熱性：+110℃

透明度アップ：ヘイズ値1.5を実現



*ヘイズ値：曇りの度合を表す値
数値が小さい程透明性が高い

④ 新発泡PP容器（新HS）

1.8倍発泡 → 3.5倍発泡



③ PET二軸延伸 透明容器 '12年春上市予定

耐熱アップ：+80℃

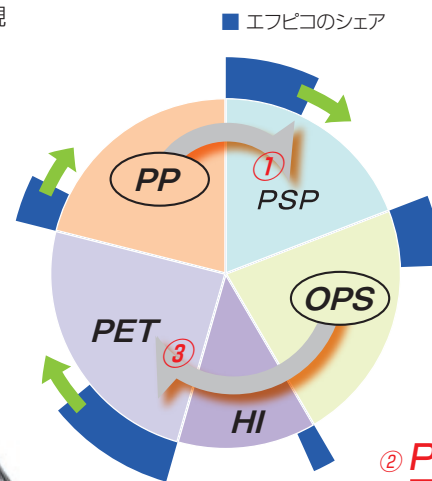
強度アップ：更なる軽量化が可能

シート厚み：0.20～0.18mm



❖ 素材別シェア

（重量ベース）円グラフ



① MFP（マルチFP）

広い温度帯をカバー：
-40℃～+110℃

断熱性：レンジアップしても
手で持てる
レンジアップしても
軟化変形しにくい



② PET一軸延伸 透明容器

耐熱アップ：+70℃

強度アップ：軽量化が可能

シート厚み：0.23～0.21mm

（従来シート厚み：0.32～0.30mm）

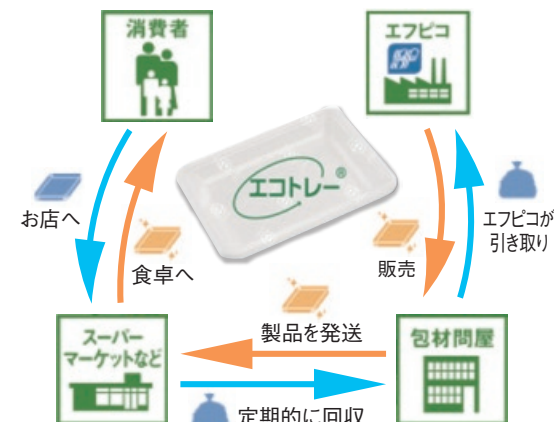


「エコマークアワード2010」で 金賞を受賞

エコマーク初の表彰制度となる「エコマークアワード2010」の記念すべき第1回の金賞に「エフピコ方式の『トレーtoトレー』リサイクル」が選ばれました。



■ エフピコ方式のリサイクル『トレーtoトレー』



（平成23年9月30日現在）

❖ 株式の状況

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	22,142,106株
株主数	3,196名

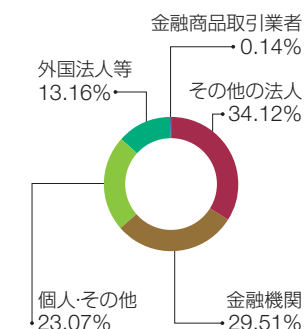
❖ 大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
株式会社小松安弘興産	6,041	29.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,098	5.31
日本ラスティサービス信託銀行株式会社（信託口）	896	4.33
積水化成工業株式会社	716	3.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（退職給付信託積水化成工業口）	450	2.17
エフピコ共栄会	446	2.16
株式会社西日本シティ銀行	440	2.13
日本ラスティサービス信託銀行株式会社（りそな銀行再信託分株式会社もみじ銀行退職給付信託口）	381	1.84
ザ チェース マンハッタン バンク エヌアイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	376	1.82
小松安弘	375	1.81

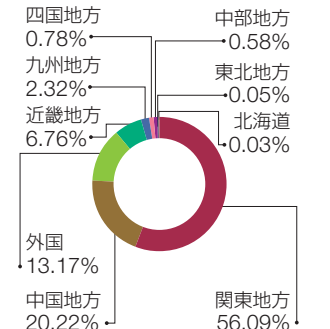
（注）1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式（1,443,917株）を控除して計算しております。

❖ 株式分布状況

所有者別



地域別



会社の概況

(平成23年9月30日現在)

社名	株式会社エフピコ FP CORPORATION
本社	〒721-8607 広島県福山市曙町一丁目12番15号 TEL 084-953-1145 (代表)
東京本社	〒163-6036 東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 新宿オークタワー36F TEL 03-5320-0717 (代表)
設立年月日	昭和37年7月24日
資本金	13,150,625,630円
企業集団の 主要な事業内容	当社グループは、簡易食品容器関連事業 業及び商事関連事業を営んでおります。

取締役及び監査役

(平成23年9月30日現在)

代表取締役会長	小 弘	松 安	弘
代表取締役社長	佐 正	藤 正	正
代表取締役専務	下 輝	田 部	輝
専務取締役	笹 部	上 郎	部
常務取締役	池 上	子 功	池
常務取締役	金 高	西 誠	金
取締役	高 瀧	崎 樹	高
取締役	土 利	川 男	土
取締役	安 田	和 彦	安
取締役	高 橋	正 之	高
取締役	永 岡	信 幸	永
取締役	江 隆	恒 義	江
取締役	高 佐	崎 修	高
取締役	日 末	藤 義	日
取締役	末 唐	比 郎	末
常勤監査役	小 坂	吉 純	小
常勤監査役	中 居	井 朗	中
常勤監査役		田 彦	
常勤監査役		居 敏	
常勤監査役		敏 幹	
常勤監査役		幹 郎	
常勤監査役		郎 彦	

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 株式会社大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.fpco.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他やむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- ご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の変更などについては、お取引のある証券会社にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



株式会社エフピコ

<http://www.fpco.jp/>

〒721-8607 広島県福山市曙町一丁目12番15号
TEL 084-953-1145 (代表)